

家での畑仕事で学んだこと

糸父市立南小学校 五年一組 加藤 正慎

ぼくは、家に畑があるので、冬以外は毎日その手伝いをしています。ぼくの仕事は、水をあげることに、しゅうかくをすることです。

野菜を植える時には、畑作りと種まきやなえ植えもします。

水あげはとても大切な仕事で、夏は朝と夕方にするのですが、暑い暗れが続く日にサボると、野菜かしましなにな。てしまいかれた

てしまうこともあります。水が足りないと、野菜の実がしなにな。てしまうことに気がつきました。水がないと植物は育たないので水はとても大切だと学びました。

しゅうかくは、一番楽しい仕事です。実がなるもの、土の中にあるもの、野菜によってそれぞれです。野菜のでき方を観察できるのが、とても勉強になります。夕方にしゅうかくした野菜がしななときがあつて、朝と夕方の野菜の方がおいしいということも、手伝

りをしていたからこそ知ることができました。
ぼくは、きゅうりをいっけうかくして、そのま
まかじって食べるのが一番の楽しみです。

畑作りと種まき、なえ植え、その野菜によ
って植える季節や間かきや深さ、あげる肥料
がちがうことを覚えめました。色々と教えてそ
らい、始めは覚えられませんでした。何年
も手伝っているうちにどんどん覚えることか
できました。

毎日、畑を見ていると、虫もたくさんがっ

てきます。きゅうりにはウリハムシ、ジャガ
イモにはニギューウヤホシテントウ、エンドウ
マメには、カメムシのような害虫です。害虫
とりをしながら、この虫達は、どうやって畑
があるのを知って、そこからくるのか、とて
も不思議に思えます。夏候が気温が植えた野
菜で、出会う虫が異なります。毎年会う虫に
も季節を感じるのには、農業の手伝いをしてい
ながら、たら味あえなりことだ、たと思いまあ
ぶくニユースでは、人口そう加、気候変動

農業はなれなごから、近い未来には食料不足になるというのをよく見えます。ぼくは、畑の手伝いをしているが、たが、こうりうニースを気にすることもないか、たと思ひます。最近の夏は暑すぎて、野菜がかわれてしまつたりしてります。温だん化を防ぐ活動が水を大のにするために水げんを穿る活動にも興味をほつこともできました。畑の手伝い外、色々なことを考えるき。かけになりました。これからも 変りうすに野菜を作れるかんきこうでいられるように、地球を守る活動をみんなですてりきたいと思ひます。